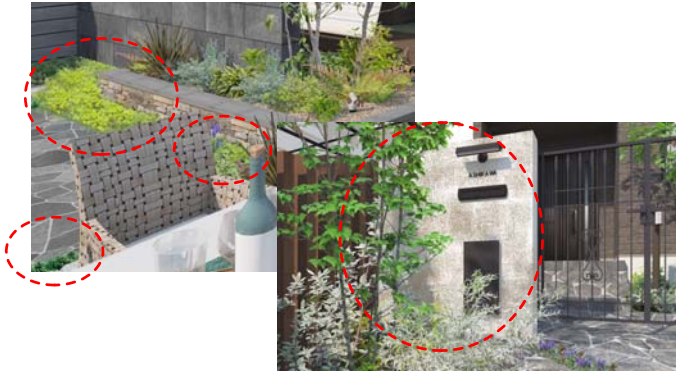


クラスレタッチ

クリックした図形に収まるようにレタッチをすることができます。



構造物や樹木の後ろなど、図形からはみ出さずにレタッチをしたいときに使用します。

事前にレンダリングして画像レイヤにパース画像を配置しておきましょう。

レタッチについては

 [レタッチ ノズル]を検索

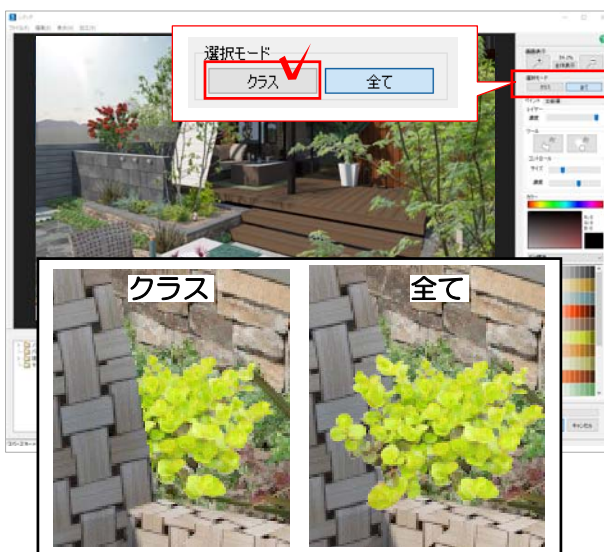


1 画像レイヤに配置したパースをダブルクリックします。

画像編集画面が表示されます。

2 画面右下の「レタッチ」をクリックします。


レタッチ画面が表示されます。



3 画面右上の選択モード「クラス」をクリックします。

クラス：クリックした図形に収まるようにレタッチをすることができます。

全て：全体に対してレタッチをすることができます。

 旧バージョンのCADでレンダリングしたパースにはクラスレタッチができません。「クラス」がクリックできない場合は、改めてレンダリングをし直す必要があります。レンダリングし直したパースにレタッチをしましょう。



4 画面左下からノズルを選択し、表示された一覧から使用したいノズルをクリックします。

例：ノズル→フォト→花と葉→リシマキア

5 ノズルを書き込みたい箇所をクリックまたはドラッグします。



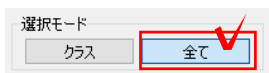
選択モード「クラス」を選んでいる時は、マウスカーソルのある箇所の図形に枠線が表示されます。レタッチしたい図形に枠線が入っているか確認してからクリックしましょう。

💡【レタッチしたい所まで切れてしまう場合は…】

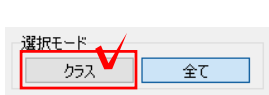


選択モードが「クラス」の時、図形が細かい部分にレタッチをするとレタッチしたい所まで切れてしまうことがあります。

その場合は、全てにレタッチをした後、不要な部分のみ削除をします。

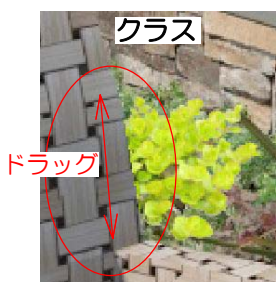


1 選択モード「全て」を選び、レタッチをします。

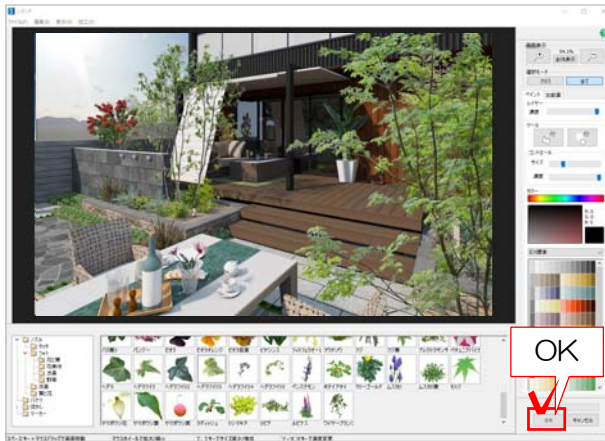


2 選択モードを「クラス」に変更して、削除ツールを選択します。

※右側のドラッグで削除するタイプを選択しましょう。



3 レタッチを削除したい図形の上で、擦るようにドラッグし、レタッチを削除します。



6 「OK」をクリックします。

画像編集の画面が表示されます。



7 「OK」をクリックします。

レタッチ完了です。レイアウトして印刷してみましよう。